

平成 27 年度事業報告

| | |
|----------|--------------|
| 公1 事務局事業 | 14,771,352 円 |
|----------|--------------|

1 文化事業 14,771,352 円

新潟市の文化的な基盤の充実、各分野の文化活動の活性化を目的として事業を実施し、市民の自主的な文化活動を支援した。

(1) 主催事業 6,773,289 円

① ミニライブコンサート (309,000)

新潟市内の演奏家の発表の場をつくり出すとともに、市役所を訪れた市民が気軽に音楽を楽しむコンサートを開催した。

開催日 毎月第3水曜日 午後0時20分～午後0時50分

場 所 市役所本庁舎1階市民ロビー

② 文化講演会 (474,752)

著名な作家を講師に招き、講演会を開催した。

開催日 平成27年11月22日

場 所 市民プラザ

講 師 椎名 誠

演 題 「小説を読むこと、小説を書くこと」

入場者 442人

③ 坂口安吾顕彰事業 (5,989,537)

新潟市が管理する安吾 風の館（旧市長公舎）で下記展覧会を開催したほか、「坂口安吾デジタルミュージアム（HP）」の充実、安吾顕彰団体と連携を図っての生誕祭、第6回安吾講座－もっと知りたい安吾の魅力－（参加者19名）の実施、小中学生の総合学習や新潟市が実施する動く市政教室、さわやかトーク宅配便への協力等により安吾の普及啓発に努めた。また、引き続き関係資料の調査研究を行った。

・「安吾をめぐる人々IV 父・仁一郎」展

開催日 平成27年4月4日～7月26日 (98日間)

内 容 安吾没後60年にあたり、安吾を振り返るテーマを掲げ、父・仁一郎をとりあげた。新聞社の社主であり、政治家、漢詩人としての父・仁一郎を安吾はどう見ていたのかを紹介した。4月25日に自伝的小説『石の思ひ』を聞く朗読会を行った。（参加者14名）

入場者 1,868人

・「安吾終焉の地、群馬県桐生市」展

開催日 平成27年8月6日～11月23日 (95日間)

内 容 安吾は昭和30年2月17日、群馬県桐生市の自宅で最期を迎えた。桐生では子供も生まれ、ゴルフを始めて、穏やかな生活と旺盛な執筆活動の日々であった。桐生での交友、桐生時代の作品を紹介した。

入場者 2,388人

・「安吾のお気に入り Ango's Favorite Things」展
開催日 平成 27 年 12 月 5 日～平成 28 年 3 月 21 日 (87 日間)
内 容 執筆の際、使用していた原稿用紙や文房具、囲碁好きの安吾愛用の碁盤碁石、自ら解説しようと試みた日本古代史に関する膨大な資料書籍、愛犬ラモーに関する写真や手紙、初めてできた子供への愛情など、安吾が気に入っていたもの、大切にしていたものなどを紹介した。
入場者 1,232 人

(2) 共催・協賛事業 4,695,796 円

共催事業

対象が市内広域におよぶ、文化振興に大きく貢献する以下の文化事業を共催し、負担金を支出した。

- ・第 29 回新潟市伝承芸能保存会 郷土芸能公演「郷芸」 (300,000)

開催日 平成 27 年 7 月 5 日 入場者 207 人

- ・2015 にいがた総おどり祭（下駄総踊り） (1,000,000)

開催日 平成 27 年 9 月 19 日～21 日 来場者 186,360 人

- ・第 63 回新潟市芸能まつり (2,500,000)

開催日 平成 27 年 9 月 22 日～平成 28 年 2 月 12 日 入場者 17,125 人

- ・新潟県音楽コンクール第 50 回記念コンサート「音楽のよろこび」 (200,000)

開催日 平成 27 年 10 月 4 日 入場者 861 人

- ・第 47 回新潟市美術展 (350,000)

開催日 前期：平成 27 年 10 月 14 日～18 日／後期：平成 27 年 10 月 21 日～25 日

入場者 5,379 人

(3) 表彰顕彰事業 98,648 円

新潟市で開催される公募展に財団賞を交付し、底辺の拡大を図った。

- ・新潟市美術展 6 部門

- ・アーベル県民アマチュア絵画展 2 部門

- ・光風会新潟支部展 1 部門

- ・新潟県工芸会展 1 部門

(4) 支援助成事業 3,116,871 円

市民の自発的な文化活動の活性化と新潟市の文化基盤の充実を目的として、市民が行う文化事業に対して、申請時期を上期・下期の 2 期に分け、上限 20 万円で助成金を交付した。(助成対象事業は審査会に諮って決定)

| 期 別 | 事 業 実 施 期 間 | 申請件数 | 交付件数 | 交付金額 |
|-----------------|--|------|------|-------------|
| 平成 27 年度 上 期 | 平成 27 年 4 月 1 日から 平成 27 年 9 月 30 日まで | 11 件 | 10 件 | 1,680,000 円 |
| 平成 27 年度 下 期 | 平成 27 年 10 月 1 日から 平成 28 年 3 月 31 日まで | 8 件 | 8 件 | 1,320,000 円 |
| 合 計 | | 19 件 | 18 件 | 3,000,000 円 |

(5) 芸術家支援事業 86,748 円

新潟市が実施する下記の芸術家支援制度について、広報、申請受付、融資金の振込などの事務を受託した。

- 助成金等内定者資金融資制度

融資件数 5 件

融資金額 2,520,000 円

2 会議の開催状況

(1) 評議員会

- ① 第 1 回(定時) 平成 27 年 6 月 9 日
 - ・平成 26 年度事業報告及び決算について
- ② 第 2 回 平成 27 年 7 月 10 日【書面】
 - ・評議員の辞任に伴う補欠選任について
 - ・理事の辞任に伴う補欠選任について
- ③ 第 3 回 平成 28 年 3 月 30 日【書面】
 - ・評議員の辞任に伴う補欠選任について
 - ・理事の辞任に伴う補欠選任及び理事の選任について
 - ・監事の辞任に伴う補欠選任について

(2) 理事会

- ① 第 1 回 平成 27 年 4 月 1 日【書面】
 - ・常務理事の選定について
 - ・常勤役員の報酬の金額等について
- ② 第 2 回 平成 27 年 5 月 22 日
 - ・規程、規則の一部改正(処務規程、会計規程)について
 - ・平成 26 年度補正予算について
 - ・平成 26 年度事業報告及び決算について
 - ・定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について
 - ・代表理事、業務執行理事の職務執行状況について(報告)
- ③ 第 3 回 平成 27 年 6 月 8 日【書面】
 - ・規程、規則の一部改正(給与規程)について

- ④ 第4回 平成27年7月7日【書面】
 - ・第2回評議員会(書面)の日時及び場所並びに目的である事項について
- ⑤ 第5回 平成28年2月22日【書面】
 - ・常勤役員の報酬の金額等について
- ⑥ 第6回 平成28年3月23日
 - ・平成27年度補正予算について
 - ・個人番号及び特定個人情報取扱規程の制定について
 - ・情報管理規程の制定について
 - ・職員研修規程の制定について
 - ・職員の提案に関する規程の制定について
 - ・歴史博物館「みなとぴあ歴史発見プロジェクト」事業特定費用準備資金取扱規程の制定について
 - ・規程、規則の一部改正(個人情報保護規程、嘱託職員就業規則、給与規程)について
 - ・平成28年度事業計画及び予算について
 - ・第3回評議員会(書面)の日時及び場所並びに目的である事項について
 - ・代表理事、業務執行理事の職務執行状況について(報告)

公2 芸術文化会館・音楽文化会館・県民会館事業**1, 371, 198, 103 円****○ 新潟市民芸術文化会館及び新潟市音楽文化会館****1, 184, 142, 159 円****1 文化事業 579, 557, 706 円**

市民芸術文化会館の三つの専門ホールや音楽文化会館、県民会館等諸施設を十分に生かした、質の高い創造性あふれる鑑賞事業を主催するとともに、音楽などの愛好者の拡大とジュニアの育成を目的とした事業を行った。

また、市民芸術文化会館、音楽文化会館、及び県民会館を芸術文化活動の拠点施設に、全国に向けて創造的に音楽・舞台芸術などを発信しながら芸術文化の振興を図った。

(1) 音楽事業 174, 213, 324 円

東京交響楽団との提携による質の高い演奏と幅広いプログラム内容の演奏会、日本を代表するコンサートホールにふさわしい演奏家を招聘した世界水準の演奏会や、音楽愛好者拡大のための演奏会、さらにオルガンの活用事業、オペラ・コンサート、音楽文化会館でのコンサートなど多彩な演奏会を開催することにより、聴衆の水準を高めるとともにその拡大に努めた。

また、各種講座の開催や普及プログラムにより市民の音楽活動の底辺の拡大や、ジュニアの育成の強化を図った。

① 鑑賞事業 (137,554,683)**－東京交響楽団シリーズ－****・東京交響楽団新潟定期演奏会**

第 89 回 平成 27 年 5 月 17 日(日) ~ フランク : 交響曲ニ短調 ~

第 90 回 6 月 7 日(日) ~ ブルックナー : 交響曲第 7 番ホ長調 ~

第 91 回 8 月 23 日(日) ~ チャイコフスキイ : ピアノ協奏曲第 1 番変ロ短調 ~

第 92 回 10 月 18 日(日) ~ ストラヴィンスキイ : バレエ組曲「火の鳥」(1945 年版) ~

第 93 回 11 月 29 日(日) ~ ドヴォルザーク : 交響曲第 8 番ト長調 ~

第 94 回 平成 28 年 3 月 20 日(日) ~ フォーレ : ~ レクイエム ニ短調

・コントホールへようこそ～わくわくキッズコンサート(5回公演) 平成 27 年 10 月 20 日(火)・21 日(水)

・特割コンサート 平成 27 年 10 月 21 日(水)

・東響定期 + α 日本のオーケストラシリーズ No.7 大阪フィルハーモニー交響楽団

平成 27 年 9 月 26 日(土)

・東響定期 + α 1 コインコンサート “プレミアム”

平成 27 年 7 月 6 日(月)

・東響定期 + α カルミナ四重奏団

平成 27 年 12 月 2 日(水)

－ピアノ・リサイタルシリーズ－

・No.33 フランチェスコ・トリスター／

平成 27 年 11 月 26 日(木)

－歌の花束シリーズ－

・Vol.24 タリスト・スコラーズ

平成 27 年 6 月 18 日(木)

・Vol.25 ドイツの詩と歌曲の愉しみ

平成 27 年 9 月 6 日(日)スタジオ A

—カルテットシリーズ—

・カルミナ四重奏団（再掲）

平成 27 年 12 月 2 日(水)

—オルガンシリーズ—

・山本真希リサイタルシリーズ No.20

平成 27 年 9 月 5 日(土)

・オルガン・クリスマスコンサート 2015

平成 27 年 12 月 11 日(金)

・トーマス・レンナルツ・リサイタル

平成 28 年 2 月 11 日(木／祝)

・山本真希リサイタルシリーズ No.21（中止）

・ベルナール・フォクルール・リサイタル（中止）

—りゅーとぴあオペラ劇場シリーズ—

・オペラ・コンサート 2016～《椿姫》ハイライト

平成 28 年 3 月 5 日(土)

—ホール体験事業—

・1 コインコンサート

Vol.76 「ピアノ」

平成 27 年 5 月 21 日(木)

Vol.77 「オルガン」

平成 27 年 6 月 12 日(金)

Vol.78 「チェロ&ピアノ」

平成 27 年 9 月 9 日(水)

Vol.79 「ヴァイオリン二重奏」

平成 27 年 10 月 27 日(火)

Vol.80 「テノール」

平成 27 年 11 月 1 日(日)

Vol.81 「オーボエ」

平成 27 年 12 月 16 日(水)

1 コインコンサート “プレミアム”（再掲）

平成 27 年 7 月 6 日(月)

—その他—

・茂木大輔のオーケストラコンサートシリーズ No.11

平成 27 年 6 月 28 日(日)

・ロシア国立交響楽団

平成 27 年 7 月 17 日(金)

・バロックアンサンブル ストラディ・ヴァリア

平成 27 年 9 月 18 日(金)劇場

・ホルンで奏でる「紅白歌合戦 2015」“THE FINAL”

平成 27 年 10 月 10 日(土)

・グザヴィエ・ドゥ・メストレ ハープリサイタル

平成 27 年 11 月 2 日(月)

・オペラシアターこんにゃく座 オペラ《銀のロバ》

平成 27 年 11 月 21 日(土)劇場

・宮川彬良とアンサンブル・ベガ「お年玉コンサート」（中止）

・宮川彬良とアンサンブル・ベガ「ニューイヤーコンサート」（中止）

② 育成・普及事業 (36,658,641)

—オルガン事業—

・オルガン普及プログラム

りゅーとぴあオルガン講座

プレ講座

平成 27 年 4 月 19 日(日)

ポジティヴィオルガン演奏コース I 平成 27 年 5 月 24 日(日)～7 月 5 日(日) 全 4 回

| | |
|------------------|------------------------------|
| ポジティヴオルガン演奏コースⅡ | 平成27年10月25日(日)～12月18日(金) 全5回 |
| リスナーコース | 平成27年5月24日(日)～11月22日(日) 全5回 |
| 大オルガン演奏コース | |
| ジュニアコース(中・高生) | 大オルガン使用の半年コース(継続あり) |
| 基礎コース | 大オルガン使用の1年コース(1年のみ継続あり) |
| 応用コース | 大オルガン使用の1年コース(1年のみ継続あり) |
| オルガン・サマーデイズ | 平成27年8月7日(金) |
| ニューイヤー・オルガンスペシャル | 平成28年1月7・8・10日(木・金・日) |
| オルガン講座修了演奏会 | 平成28年3月6日(日) |
| オルガン音楽隊(開催なし) | |

－市民参加合唱団－

- ・にいがた東響コーラス 平成27年12月～平成28年3月

－ジュニア等育成事業－

- ・ジュニアオーケストラ教室育成事業
 - 第34回定期演奏会 平成27年9月13日(日)
 - クリスマス演奏会 平成27年12月23日(水／祝)
- ・全国公立ジュニアオーケストラ連絡協議会
 - 第26回幹事会 平成27年5月26・27日(火・水)仙台
 - 第27回幹事会 平成28年2月23日(火)東京
- ・ジュニア合唱団育成事業
 - 第25回定期演奏会 平成27年7月20日(月／祝)
 - クリスマス演奏会 平成27年12月19日(日)
 - 第38回新潟県少年少女合唱団合同演奏会 平成27年8月22日(土)長岡
 - 第3回にいがたジュニアコーラス・フェスティバル2016 平成28年2月14日(日)
- ・ジュニア邦楽合奏教室育成事業
 - 第20回定期演奏会 平成27年7月26日(日)音文
 - ジュニア邦楽合奏フェスティバル 平成27年8月2日(日)
 - クリスマス演奏会 平成27年12月19日(土)能楽堂樂屋
- ・ジュニア音楽教室第12回スプリングコンサート 平成28年3月27日(日)

－その他－

- ・りゅーとぴあアウトリーチ事業
 - ジョイント・コンサート 平成28年3月6日(日)秋葉区文化会館
 - アウトリーチ(市内小学校ほか)
- ・気軽に音ステージ 平成27年6月7日(日)音文
- ・おんぶん・リレーコンサート 平成28年3月12・13日(土・日)音文
- ・コンサートホール企画連絡会議 平成27年7月27・28日(月・火)京都

(2) 演劇事業 169,765,888 円

多様な専門機能を持つ劇場と伝統様式の能楽堂を活用し、劇場製作及び小劇場系の演劇作品や伝統芸能などの様々な公演を開催し、にぎわいのある劇場空間の創造と観客の拡大を目指した。さらに専門ホールの特性を活用した新潟発の演劇作品を創造し、全国に向けて発信した。また、「演劇スタジオキッズ・コース APRICOT」、「子どもの劇場シリーズ」により次世代を担う子どもたちのなかから舞台芸術に携わる優れた人材や観客を育むとともに、地域の文化ホールや民間の劇団と連携を組み、広く演劇に携わる人材の育成と演劇活動の振興を図った。

① 鑑賞事業 (81,511,893)

- ・「結びの庭」 1回公演 平成 27 年 4 月 12 日(日)
- ・「笑った分だけ、怖くなる」 vol.1 1回公演 平成 27 年 4 月 22 日(水)
- ・「ART」 平成 27 年 5 月 27 日(水)
- ・「第二十七回ふるまち新潟をどり」 2回公演 平成 27 年 6 月 21 日(日)
- ・「敦一山月記・名人伝一」 1回公演 平成 27 年 6 月 27 日(土)
- ・朗読劇「わりなき恋」 1回公演 平成 27 年 7 月 11 日(土)
- ・「cocoon」 1回公演 平成 27 年 7 月 18 日(土)
- ・「メアリー・ステュアート」 1回公演 平成 27 年 7 月 24 日(金)
- ・KERA ・MAP 「グッドバイ」 1回公演 平成 27 年 10 月 7 日(水)
- ・キャラメルボックス 「BREATH」 2回公演 平成 27 年 11 月 28・29 日(土・日)
- ・「ブロッケンの妖怪」 1回公演 平成 27 年 12 月 8 日(火)
- ・「熱海殺人事件」 2回公演 平成 28 年 2 月 5・6 日(金・土)
- ・水都寄席「春風亭小朝独演会」 平成 28 年 2 月 21 日(日)
- ・NE/ST 第 4 弾「従軍中のウイタゲンショインが（略）」 平成 28 年 3 月 9 日(水)
- ・ミュージカル「ピーターパン」（中止）

② 育成・普及事業 (15,880,634)

- ・りゅーとぴあ演劇スタジオ キッズ・コース APRICOT 通年（発表公演：夏季／アトリエ／春季）
- ・子どもの劇場シリーズ「気づかいいルシー」 1回公演 平成 27 年 9 月 26 日(土)
- ・りゅーとぴあ・演劇ワークショップ
- 笹部博司「リーディング体験ワークショップ」6回 平成 27 年 10 月 17 日(土)～12 月 20 日(日)
- 谷 賢一「演劇ワークショップ」2回 平成 28 年 1 月 23 日(土)・24 日(日)

③ 新潟発創造事業 (72,373,361)

- ・りゅーとぴあ発 物語の女たちシリーズ 第 9 弾
「私のエディット～松坂慶子が語るエディット・ピアフの物語」 出演／松坂慶子
平成 27 年 5 月 20 日(水)～22 日(金)3 回公演 三越劇場
平成 27 年 5 月 30 日(土)劇場
- ・りゅーとぴあ発 物語の女たちシリーズ 第 10 弾
「華岡青洲の妻」／十朱幸代 平成 27 年 11 月 12 日(木) 三越劇場 他

平成 27 年 11 月 21 日(土)能楽堂 他

- ・りゅーとぴあ発 物語の女たちシリーズ 第 2 弹「燃えよ剣」再演 東京他 7 か所 8 公演
- ・りゅーとぴあ発 物語の女たちシリーズ 第 3 弹「黒い雨」 再演 広島、長崎他 計 25 公演
- ・極限に向き合う男 井上芳雄による「夜と霧」～苦しみの果て、それでも人生に然りと云う～
平成 28 年 2 月 16 日(火)～20 日(土) 5 回公演 イタリア文化会館 アニエッリホール
- ・内野聖陽「乳房」 (次年度に延期)

(3) 能楽事業 27,385,084 円

伝統様式に則った本格的な能舞台と劇場の舞台を活用し、子どもから一般までを対象とした鑑賞公演と、能狂言に対する基礎的な知識や興味を高める能楽講座、ワークショップ等を開催した。また、子どもたちを対象としたお囃子と狂言のワークショップやアウトリーチ事業の能楽体験教室を開催して若年層への能楽普及を図った。

① 鑑賞事業 (23,774,649)

- ・「春の能楽鑑賞会」(観世流) 2 回公演 平成 27 年 6 月 28 日(日)
- ・「秋の能楽鑑賞会」(宝生流) 2 回公演 平成 27 年 10 月 3 日(土)
- ・野村万作・萬斎狂言公演 2 回公演 平成 27 年 11 月 22 日(日)
- ・馬場あき子特選 能楽鑑賞会 1 回公演 平成 27 年 12 月 12 日(土)
- ・能楽堂で楽しむお正月 1 回公演 平成 28 年 1 月 17 日(日)

② 育成・普及事業 (3,610,435)

- ・能楽基礎講座 若手能楽師に聞く能の楽しみ 年 3 回 平成 27 年 5 月 19 日(火),
平成 27 年 12 月 5 日(土)
平成 28 年 2 月 20 日(土)
- ・春能プレ講座 平成 27 年 5 月 30 日(土)
- ・観世流能楽鑑賞教室 (観世文庫共催) 平成 27 年 8 月 29 日(土)
舞の習い 8 回 平成 27 年 6 月 20 日(土)～8 月 28 日(金)
- ・秋能プレ講座 平成 27 年 9 月 6 日(日)
- ・能楽体験教室 [謡] (学校訪問) 平成 27 年 5 月 22 日, 7 月 10 日,
11 月 27 日, 平成 28 年 2 月 19 日
- ・能楽ワークショップ [囃子] (能楽堂・市内小中学校) 平成 27 年 10 月 28,29 日(水木)
- ・能楽ワークショップ [狂言] (能楽堂・市内小中学校) 平成 28 年 1 月 19,20 日(火水),
3 月 1 日(火)
- ・「さわってみよう能の世界」 平成 28 年 3 月 5 日(土)

(4) 舞踊事業 142,614,082 円

全国唯一のレジデンシャル・ダンス・カンパニー Noism の活動を通して、水準の高い新潟オリジナルの舞踊作品を国内外に向けて創造発信し舞台芸術の振興を図った。さらにアーティストが地域に定住する特性を生かし、舞台芸術に携わる優れた人材や観客を育んだ。また、新潟市及び新潟市関連事業との協働・連携や他都市の劇場・音楽堂等との連携・協力関係を構築することから、全市的及び地方の拠点施設としての地位と役割を高め、文化創造都市としての更なるイメージ向上を目指した。

① 新潟発創造事業 (140,966,139)

・りゅーとぴあ レジデンシャル・ダンス・カンパニー Noism 運営事業

(公演事業)

・近代童話劇シリーズ Vol.1 Noism1 「箱入り娘」(「水と土の芸術祭 2015」参加作品)

新潟公演 りゅーとぴあ・スタジオ B 13回公演 平成27年6月6日(土)~15日(月)

7月24日(金)~8月1日(土)

※7/26、7/30は「みづつち特別公演」

神奈川公演 KAAT 神奈川芸術劇場 6回公演 平成27年6月22日(月)~28日(日)

金沢公演 金沢21世紀美術館

2回公演 平成27年7月18日(土)、19日(日)

※7/19 Noism 舞踊体験ワークショップ(金沢歌劇座)

・Noism1&Noism2 合同公演 劇的舞踊「カルメン」【再演】

〈プレ事業〉劇的舞踊「ホフマン物語」ビデオ上映会 りゅーとぴあ・能楽堂

平成27年12月13日(日)

新潟公演 りゅーとぴあ・劇場 3回公演 平成28年1月29日(金)~31日(日)

※1/31 劇的舞踊「カルメン」バックステージツアー

神奈川公演 KAAT 神奈川芸術劇場 3回公演 平成28年2月19日(金)~21日(日)

[東アジア文化都市 2015 新潟市「韓国舞踊家レジデンス・プログラム」]

・Noism2×永島流新潟樽砧伝承会「赤降る校庭 さらにもう一度 火の花散れ」(水と土の芸術祭 2015 共同製作)

水と土の芸術祭 2015 ベースキャンプ(旧二葉中)グラウンド 4回公演 平成27年8月22日(土)、23日(日)

・Noism2 定期公演「Painted Desert/SAUDADE」 りゅーとぴあ・スタジオ B

3回公演 平成27年12月11日(金)~13日(日)

(その他受託事業)

・Noism2 長岡公演 長岡リリックホール・シアター 1回公演 平成27年4月24日(金)

・「みなと新潟春フェスタ」Noism2+プロジェクトマッピング みなとぴあ新潟市歴史博物館・前庭
4回公演 平成27年5月2日(土)、3日(日)

・Noism2 特別公演(全国公立文化施設協会研究大会) りゅーとぴあ・劇場

1回公演 平成27年6月5日(金)

・東アジア文化都市 2015 新潟市「新潟インターナショナルダンスフェスティバル NIDF2015」

大邱市立舞踊団(DCMDC)「Moon-Looking Dog」/「I Saw the Elephant」より第2部
りゅーとぴあ・劇場 1回公演 平成27年8月21日(金)

城市当代舞踊団(CCDC)「As If To Nothing」

りゅーとぴあ・劇場 1回公演 平成27年8月28日(金)

Noism0「愛と精霊の家」(水と土の芸術祭 2015 参加作品)

りゅーとぴあ・劇場 1回公演 平成27年9月4日(金)

文化鼎談「劇場専属舞踊団の課題とアジアの未来」 新潟県民会館・小ホール

平成27年8月23日(日)

・水と土の芸術祭 2015 パフォーマンスプログラム

Noism1 メンバー振付公演 新潟市全域 5回公演 平成27年8月29日(土)、30日(日)

9月5日(土)、6日(日)

こどものためのからだワークショップ 新潟市こども創造センター 全1回

平成27年8月1日(土)

| | | | |
|-----------------------|-------------------------------|-------|-----------------------------|
| Noism サマースクール | りゅーとぴあ・スタジオ B | 全 8 回 | 平成 27 年 8 月 8 日(土)、9 日(日) |
| | | | 15 日(土)、16 日(日) |
| リーディング・カフェ in 水と土の芸術祭 | 水と土の芸術祭 2015 ベースキャンプ(旧二葉中)音楽室 | 全 1 回 | 平成 27 年 9 月 5 日(土) |
| 小学校出張ワークショップ | 新潟市立女池小学校・体育館 | 全 1 回 | 平成 27 年 9 月 15 日(火) |
| 柳都会みずつちスペシャル | 水と土の芸術祭 2015 ベースキャンプ(旧二葉中)体育館 | 全 1 回 | 平成 27 年 9 月 6 日(日) |
| ・ Noism1 「箱入り娘」【韓国公演】 | Namsan Arts Center | 2 回公演 | |
| | | | 平成 27 年 9 月 14 日(月)、15 日(火) |

② 育成・普及事業 (1,647,943)

| | | |
|---|-----------------|----------------------|
| ・「柳都会」第 13 回 | ほんぽーと 新潟市立中央図書館 | 平成 27 年 4 月 19 日(日) |
| 「柳都会」第 14 回 | りゅーとぴあ・スタジオ B | 平成 27 年 11 月 22 日(日) |
| ・ Noism2 学校出前公演「赤降る校庭 さらにもう一度 火の花散れ」(新潟市踊り文化推進事業受託) | 新潟市立東石山中学校 | 平成 27 年 11 月 17 日(火) |
| | 新潟市立上山中学校 | 平成 27 年 11 月 18 日(水) |
| | 新潟市立葛塚中学校 | 平成 27 年 11 月 19 日(木) |
| ・先生のためのからだワークショップ(新潟市踊り文化推進事業受託) | 新潟市亀田総合体育館 | 平成 28 年 2 月 9 日(火) |
| ・ Noism ワンデイスクール事業(新潟市踊り文化推進事業受託) | りゅーとぴあ・スタジオ B | 平成 28 年 3 月 12 日(土) |

(5) 共催事業 568, 229 円

芸術団体等とのタイアップにより、効果的な事業運営と芸術文化の振興を図るほか、文化団体との共催による全国規模の事業を行った。

また、5 月 8 日～10 日に開催されたクラシック音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ新潟 2015」では、新潟市などで構成される音楽祭実行委員会に財団も参加し、主催事業と連携を取りつつ、合わせて広範な集客を図った。

| | |
|---------------------------|----------------------------|
| ・佐渡裕指揮・兵庫芸術文化センター管弦楽団 | 平成 27 年 4 月 17 日(金) |
| ・ラ・フォル・ジュルネ新潟 2015 | 平成 27 年 5 月 8 日(金)～10 日(日) |
| ・Walk oN! | 平成 27 年 6 月 7 日(日) |
| ・遠藤実の世界 | 平成 27 年 6 月 23 日(火) |
| ・アンサンブル・オーケストラ金沢 | 平成 27 年 6 月 24 日(水) |
| ・第 63 回新潟市芸能まつり | 平成 27 年 10 月～11 月音文ほか |
| ・新垣隆&磯絵里子おしゃべりコンサート | 平成 27 年 12 月 22 日(火) |
| ・「第 12 回劇場で踊ろう！ダンスキッズ大集合」 | 平成 27 年 12 月 27 日(日)劇場 |
| ・プラハ交響楽団 | 平成 28 年 1 月 11 日(月／祝) |

(6) 広報営業事業 24, 638, 590 円

公演情報を積極的に発信するとともに、チケット購入者の拡大や大口の顧客確保並びに企業協賛の募集など、広報・営業活動を効果的に展開し、合わせて上質な施設機能を広くアピール

して、会館の知名度の拡大と利用促進を図った。

なお、平成 27 年度から指定管理を受託した新潟県民会館の事業も併せて広報・営業活動を効果的に展開し、市民芸術文化会館、音楽文化会館、県民会館の 3 館一体管理による文化ゾーンとしての魅力を高めるための広報を展開した。

- ・広報・営業事業
- ・音楽広報事業
- ・演劇広報事業

(7) 調査研究諸費 1, 407, 432 円

次年度以降の事業の企画立案や円滑な施設運営を図るため、先進ホールの運営や優れた公演などについて調査・研究を進め、ノウハウの取得や人的交流の拡大に努めた。

(8) 事業企画諸費 11, 735, 484 円

音楽・演劇・舞踊等の各分野において、その専門家からの指導・助言を受け、優れた芸術文化事業を効果的に企画・実施するとともに、専属オルガニストを引き続き配置し、オルガン音楽の魅力を内外に発信した。

- ・芸術監督（音楽部門・演劇部門・舞踊部門）
- ・専属オルガニスト

(9) 事業管理経費 27, 229, 593 円

票券業務、託児サービス業務などを引き続き実施し、お客様の利便性の向上に努めた。

2 文化施設管理受託事業 604, 584, 453 円

(1) 市民芸術文化会館管理事業 516, 419, 865 円

平成 10 年 10 月に開館した市民芸術文化会館は、通年の自主事業・貸館事業等に市民を始めとする多くの方々に来館いただいている。

平成 27 年度も一層のサービス向上に努め、より多くの来館者に安心・快適に利用してもらえるよう管理運営を行った。

- ① コンサートホールの管理
- ② 劇場の管理
- ③ 能楽堂の管理
- ④ ギャラリーの管理
- ⑤ スタジオの管理
- ⑥ 練習室の管理

※ 平成27年度市民芸術文化会館入館者数 373, 482 人

(2) 音楽文化会館管理事業 88, 164, 588 円

昭和 52 年 11 月に開館した音楽文化会館は、13 の練習室と成果発表に多く使用されるホールを備えた全国でも特徴のある施設として永く市民に親しまれてきた。

平成 10 年度より当財団がその管理を受託している。

平成 27 年度も市民芸術文化会館及び県民会館との一体的な管理を図りながら会館の管理運営を行った。

① ホールの管理

② 練習室（13 室）の管理

※ 平成 27 年度音楽文化会館入館者数 102, 488 人

1 文化事業 34, 893, 830 円

大小の専門ホールなどの諸施設を活用した、大規模で質の高い、多様な鑑賞事業を展開するとともに、芸術の普及と県内の文化を担う人材の育成を図るための事業を実施した。

また 27 年度より、チケット購入システムや広報媒体について、市民芸術文化会館との共用を開始し、利用者の利便性の向上と事業の拡大・促進を図った。

(1) 歌舞伎事業

| | | |
|--------------|------|----------------------|
| ・歌舞伎プレセミナー | 1回公演 | 平成 27 年 6 月 21 日 (日) |
| ・松竹大歌舞伎（夏公演） | 2回公演 | 平成 27 年 7 月 6 日 (月) |
| ・歌舞伎プレセミナー | 1回公演 | 平成 27 年 11 月 9 日 (月) |
| ・松竹大歌舞伎（秋公演） | 2回公演 | 平成 27 年 11 月 9 日 (月) |

(2) オペラ事業

| | | |
|-----------------------------|------|----------------------|
| ・ニッセイ名作鑑賞教室 オペラ「ヘンゼルとグレーテル」 | 1回公演 | 平成 27 年 7 月 16 日 (木) |
|-----------------------------|------|----------------------|

(3) バレエ事業

| | | |
|------------------------|------|-----------------------|
| ・キエフ・クラシックバレエ「眠りの森の美女」 | 1回公演 | 平成 27 年 7 月 20 日(月・祝) |
| ・「シルヴィ・ギエム・ファイナル」 | 1回公演 | 平成 27 年 12 月 13 日 (日) |

(4) ミュージカル事業

| | | |
|---------------------|------|-----------------------|
| ・「南太平洋」 | 1回公演 | 平成 27 年 7 月 30 日 (木) |
| ・劇団四季「クレージー・フォー・ユー」 | 1回公演 | 平成 27 年 10 月 27 日 (火) |
| ・宝塚歌劇「宙組公演」 | 2回公演 | 平成 27 年 10 月 30 日 (金) |
| ・劇団四季「コーラス・ライン」 | 1回公演 | 平成 28 年 2 月 9 日 (火) |

(5) 音楽事業

| | | |
|-------------------------|------|------------------------|
| ・「アルフレッド・ハウゼ・タンゴオーケストラ」 | 1回公演 | 平成 27 年 9 月 21 日 (月・祝) |
| ・鼓童「ワンアース・ツアー 2015」 | 1回公演 | 平成 27 年 12 月 3 日 (木) |

(6) 演劇事業

| | | |
|-------|------|---------------------|
| ・「細雪」 | 2回公演 | 平成 27 年 5 月 1 日 (金) |
|-------|------|---------------------|

(7) 普及事業

| | | |
|--------------------------|----|------------------------|
| ・キエフバレエ「リハーサル見学&バー・レッスン」 | 1回 | 平成 27 年 7 月 20 日 (月・祝) |
| ・出張！「佐渡太鼓体験交流館」 | 3回 | 平成 28 年 2 月 14 日 (日) |
| ・スタインウェイ・ピアノを弾こう | 1回 | 平成 28 年 2 月 28 日 (日) |

(8) 育成事業

| | | |
|-----------------|----|----------------------|
| ・「アート・プロデュース講座」 | 1回 | 平成 28 年 3 月 15 日 (火) |
|-----------------|----|----------------------|

2 文化施設管理受託事業 152, 162, 114 円

新潟県民会館管理事業

昭和 42 年 4 月に開館した新潟県民会館は、大小のホールと 2 つのギャラリー、4 つの会議室を中心に、コンサートや演劇、美術展、会議など幅広い用途で多くの方々に利用して頂いている。

県民会館については、平成 27 年度より当財団が指定管理者となったが、これまで以上にお客様が安心かつ円滑に施設を利用して頂けるよう、上質なサービスの提供に努めるとともに、会館運営のさらなる効率化を図った。

- ① 大ホールの管理
- ② 小ホールの管理
- ③ ギャラリーの管理
- ④ 会議室、談話室の管理
- ⑤ 展示コーナーの管理

※ 平成27年度新潟県民会館入館者数 325, 839 人

公3 歴史博物館等・旧小澤家住宅事業

187,045,732 円

○ 新潟市歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等

161,810,171 円

1 文化事業 17,419,126 円

「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため、以下の各種事業を行った。

(1) 展示運営更新 0 円

人と水の関りをテーマに新潟市の歴史を紹介。学芸員やボランティアによる展示解説を行った。また、市美術館が開催した「川村清雄展」に連携した展示替えなどを行った。

(2) 企画展示事業 7,544,739 円

市民に身近な題材や市民にとって興味深い資料・地域等をテーマとした計 4 本の企画展を実施した。

① 「田んぼで魚とり」展 (1,935,697)

蒲原平野の低湿地で行われてきた農家の漁労活動について、多様な漁具や舟などの民俗資料のほか、昭和 30 年代頃までの低湿地の暮らしを写した写真などで紹介した。期間中、魚類専門家による講演会のほか、新潟市ネイチャーゲームの会の協力を得て、水辺を探索する体験プログラムなどを実施した。

開催期間 平成 27 年 4 月 11 日～5 月 31 日 46 日間

観覧者数 2,787 人（うち有料観覧者 1,528 人、無料観覧者 1,259 人）

② 「古墳ワールド！蒲原の古墳」展 (3,375,492)

蒲原平野に分布する古墳の特色を、出土品をはじめイラストや写真などで分かりやすく紹介した。また関連する県内外の古墳出土品なども併せて展示した。期間中は、初心者向けの講演会や古墳見学バスツアー、夏休みの子供を対象にした円筒埴輪のペン立て作りや古墳ペーパークラフト作りなどの体験イベントを実施した。

開催期間 平成 27 年 7 月 18 日～8 月 30 日 38 日間

観覧者数 3,461 人（うち有料観覧者 2,319 人、無料観覧者 1,142 人）

③ むかしのくらし展「戦争とくらし」 (1,249,868)

小学生を対象に、戦争によって身近な暮らしが変化していった様子を気づかせる展示を行った。子どもたちの目線に立って資料を選び、戦争という出来事を五感で感じられるよう工夫した。子どもに特化した展示であるため、大人向けの展示解説を毎週日曜日に実施した。また館内では戦時中の流行歌を流した。

開催期間 平成 27 年 9 月 12 日～12 月 6 日 75 日間

観覧者数 11,884 人（無料観覧者）

④ 「新収蔵品展・収蔵品展」 (79,620)

「新収蔵品展」では、今年度に寄贈いただいた民俗資料・文書資料・メディア資料・美術資料等の中から、114 点を選んで展示した。

「収蔵品展」は、「老舗呉服店の蔵のなか」をテーマに、当館に一括寄贈された旧山惣呉服店の資料の中から商家の暮らしの一端がうかがえる資料を選んで紹介した。

開催期間 平成28年2月11日～3月27日 39日間

観覧者数 6,267人（無料観覧者）

(3) 教育普及事業 560,049円

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人的資源や博物館が有するモノや情報を活用して、歴史に関するさまざまなサービスの提供や活動の提案を行った。そのほか、レファレンス用の開架図書を購入した。

① 体験の広場事業

体験の広場の施設や資料を活用し、学芸員とボランティアスタッフ・外部協力者により、小学生や家族連れ・大人等を対象に各種の体験プログラムを計51回実施した。

② 博・学連携事業

小学校・中学校の見学に際し展示解説等を行うほか、職場体験の中学生を受け入れるとともに、地域学習として市内の小学校へ出向いて授業を行った。また、新潟大学と連携して当館学芸員による寄附講義を開講するとともに、大学生を受入れ、通年および期間集中の館実習を開催した。さらに、同志社大学留学中のドイツチュービンゲン大学の学生をインターンとして受け入れた。

③ 講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案することを目的として、幅広いニーズに対応するための以下の各種講座を開催した。

・博物館講座 全10回、古文書入門講座 全5回、館長講座 全4回など

④ ボランティア事業

敷地ガイドや常設ガイド、体験の広場のプログラムの実施・補助として活動するボランティアを養成するとともに、その活動を支援した。さらに、ボランティア主催の春の旧新潟税関奥舍塔屋見学会や、秋にはボランティアフェスティバルを実施した。その他ボランティアによる自主事業を多数開催した。

⑤ 共催事業

牡丹山諏訪神社古墳第二次調査団に参加した。

(4) 施設普及事業 2,436,422円

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」、年報などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図った。

① 地域連携事業の実施

博物館近隣の市民団体や国・県などと共に、新潟の港や下町のPRを目的に以下の事業を開催した。

堀とさくらのコンサート(4/11)、夕涼みコンサート(8/22)、
みなと・しもまち・川まつり(8/23)

② みなとぴあファンクラブ

博物館の情報を定期的に会員に向けて提供した。また、会員向けの企画展鑑賞会・館バッ

クヤードツアー・まちあるき(北区葛塚の旧市街)・館長バスツアー(「初期ヤマト政権の到達地 会津の古墳を訪ねる」)・館長講演会を行った。

(5) 調査研究事業 750, 469 円

主に企画展示や収蔵品展に関連した調査・研究を実施した。

そのほか、学芸員の専門分野における研究や館活動を通じた資料調査も隨時行い、その成果は博物館講座を通じて市民に報告・還元するとともに、主なものを『研究紀要 12 号』にまとめた。

(6) 資料整理事業 5, 375, 362 円

寄贈を受けたり、購入したりした歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行った。

① 保存環境管理

館蔵資料の長期保存のため、展示室やケースなどの展示施設をはじめ、収蔵施設である本館収蔵庫・旧木場小学校、板井保育園等について、各種の保存環境調査や清掃、防虫対策のためのくん蒸など、IPMに則った各種の保存環境管理を行った。

② 資料収集整理

地域の歴史を語る資料を収集するとともに、資料を管理し活用するために、資料の基礎的データや資料の詳細情報を調査・記録した。

(7) 歴史発見プロジェクト 752, 085 円

新潟の歴史に親しみ、自らが歴史を発見する喜びを知ってもらうため、歴史を題材とした以下の自主事業を行った。

① 企画展

「みなとの仕事いまむかし」展

新潟港に関する歴史資料を展示し、現在の新潟港の役割と重ねながら新旧の港の仕事を紹介した。関連イベントとして、海上保安官の仕事を紹介する講演会をはじめ、親子を対象にした国交省新潟港湾空港技術調査事務所の水理実験場の見学会や、大人向けに新潟造船(株)の工場見学などを行った。

開催期間 平成 27 年 12 月 19 日～平成 28 年 1 月 31 日 31 日間

観覧者数 3,109 人 (無料観覧者)

② 史楽講座

「中世越後を語る」をテーマに、外部講師を招き全 4 回の講座を行った。

③ 中級古文書演習

実際の古文書を読むため、全 15 回の実践向け演習を行った。

④ こども歴史クラブ

小学生を対象にクラブ員を募り、古代から近現代までの人々の暮らしに関わる体験プログラムを計 11 回実施した。

2 文化施設管理受託事業 144, 391, 045 円

歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等の管理運営を行った。

(1) 歴史博物館管理事業

- ① 博物館本館（常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等）
- ② 旧第四銀行住吉町支店（応接室、会議室、日本間）
- ③ 屋外施設（広場、堀、園路等）

(2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

- ① 旧新潟税関庁舎
- ② 史跡（石段、石積み、石庫等）

(3) 信濃川左岸緑地管理事業

※ 平成27年度歴史博物館入館者数 100, 447 人

○ 新潟市文化財旧小澤家住宅

25, 235, 561 円

1 文化事業 2, 304, 538 円

「みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する」という旧小澤家住宅の設置目的を達成するため、以下の各種事業を行った。

(1) 常設・企画展示事業 752, 042 円

【常設展】

みなとまち新潟の歴史・生活文化並びに旧小澤家住宅や小澤家の概要について、グラフィックパネル等で紹介した。

【企画展】

道具蔵を使い、みなとまち新潟・小澤家に関連する展示を行ったほか、主屋・新座敷の館内全体を使った展示を行った。また、新潟市漆器同業組合、新潟仏壇組合、新潟ハイカラ文庫など地域団体と連携した展示・企画展を行った。

① 「小澤家ゆかりの品々」展

当館所蔵の手鏡や鏡台・お歯黒道具等の化粧道具を展示し、当時の富裕層における生活様式の一端を紹介した。

開催期間 平成 27 年 4 月 1 日～4 月 12 日 11 日間

観覧者数 253 人（うち有料観覧者 224 人、無料観覧者 29 人）

② 「端午の節句飾り」展

小澤瓔子氏の協力を得て開催した。小澤家旧蔵の兜をはじめ、小澤家より端午の節句を祝う室内飾りや掛け軸など借用し展示した。また、道具蔵では、小澤家所蔵の南蛮屏風はじめ新潟の文人が描いた掛け軸を展示した。

開催期間 平成 27 年 4 月 18 日～5 月 9 日 20 日間

観覧者数 1,459 人（うち有料観覧者 1,321 人、無料観覧者 138 人）

③ 「水道」展

新潟市水道局の協力のもと、新潟市の水道敷設事業に小澤家の当主が関わったことを紹介するとともに、水道施設完成時の絵葉書や当時の水道管などを展示した。

開催期間 平成 27 年 5 月 23 日～6 月 14 日 14 日間

観覧者数 717 人（有料観覧者 673 人 無料観覧者 44 人）

④ 「浜に届いた漂着物」展

（公財）日本離島センターの協力のもと、海と環境をテーマに日本の海岸に漂着するゴミに焦点を当てた企画展を開催した。また、海ゴミと環境に関する講演会を 1 回開催した。

開催期間 平成 27 年 6 月 27 日～7 月 12 日 14 日間

観覧者数 685 人（有料観覧者 604 人 無料観覧者 81 人）

⑤ 「新潟漆器」展

新潟市漆器同業組合と共に開催した。江戸後期から明治期に制作された新潟漆器を道具蔵・寝間・通り土間・台所・藤ノ間・百合ノ間に展示し、竹塗りや錦塗りといった特徴ある新潟漆

器の技法、漆器職人の高い技術など新潟漆器の価値を広く市民に周知した。また、企画展と併せて体験プログラムとして、漆器制作体験を12回実施した。その他に離れ座敷で当館所蔵の漆器を使って新潟の食を味わう「漆器で朝ご飯」を1回、漆器を使った地酒試飲会「漆器で地酒試飲」を8回実施し、旧小澤家住宅と漆器を併せて楽しむ催事を実施した。

開催期間 平成27年7月25日～8月30日 32日間

観覧者数 1,839人（有料観覧者1,622人 無料観覧者217人）

⑥「建具道具」展

建具をつくる際の工程でさまざまな形や大きさの道具が必要とされ、それらを駆使して繊細な建具が新潟の職人によってつくりあげられていたことを紹介した。

開催期間 平成27年9月9日～10月2日 22日間

観覧者数 1,227人（有料観覧者1,087人 無料観覧者140人）

⑦「フォトボイス」展

NPO法人フォトボイス・プロジェクト、旧小澤家活用実行委員会と共に催した。東日本大震災により故郷から離れた場所で自主避難の生活をしている方が撮影した写真を展示し、それらの家族が抱える問題や現状の課題などを紹介した。また、「撮影者をかこむ（語り合う）会」を1回開催し、避難生活者の声を新潟市民に届けた。

開催期間 平成27年10月9日～10月18日 9日間

観覧者数 502人（有料観覧者431人 無料観覧者71人）

⑧「新潟仏壇」展

新潟仏壇組合と共に催し、新潟仏壇の歴史と新潟の仏壇職人が有する高い製作技術を実物の仏壇やパネルで紹介した。企画展と併せて体験プログラムとして、金具打ち体験を2回実施した。他にも講演会や落語公演会などそれぞれ1回ずつ実施し新潟仏壇の魅力を伝える催事を行った。

開催期間 平成27年10月10日～11月3日 22日間

観覧者数 1,311人（有料観覧者977人 無料観覧者334人）

⑨「屏風」展

みなとぴあの協力を得て、小澤家所蔵の南蛮屏風や新潟市内の商家が保有し飾ってきた屏風や掛け軸を道具蔵・次ノ間・藤ノ間の各室で展示した。明治期の商家において屏風や軸を室内に飾って楽しんだ習慣があったことなど、展示を通じて新潟で息づく文化の一端を紹介した。

開催期間 平成27年11月7日～11月15日 8日間

観覧者数 652人（有料観覧者611人 無料観覧者41人）

⑩ ボランティア企画「西川をめぐる」展

当館ボランティアが中心となって行った企画展。ボランティアが燕市から新潟市を流れる西川について会議を重ね企画し、何度も流域の各所を訪れ川を通じた生活史を調査した。その上で、流域の景観や建物・記念碑などゆかりのある事物や歴史など写真パネルを制作し展示まで行った。

開催期間 平成27年11月21日～平成28年1月11日 38日間

観覧者数 946人（有料観覧者820人 無料観覧者126人）

⑪「手ぬぐい」展

個人から借用した現代の手ぬぐいを展示し、描かれた絵柄に見られる日本人の感性・季節

感を楽しむ展示を行い、額装や掛け軸にすることでできる手ぬぐい鑑賞の楽しみ方も提案した。

開催期間 平成 28 年 1 月 23 日～2 月 14 日 13 日間

観覧者数 298 人（有料観覧者 175 人 無料観覧者 123 人）

⑫ 「ひな人形とからくり人形」展

市民団体である「湊にいがた雛人形町めぐり連絡会」と共催し、旧齋藤家別邸・燕喜館など市内諸施設と連携協力し、町中の活性事業の一環として同展を実施した。当館では、小澤家旧蔵の雛人形をはじめ周辺地域のひな人形を借用し藤ノ間で展示するとともに、「雛人形連絡会」より出品された明治・大正期の雛人形や江戸時代のからくり人形を展示し、地元に残るひな人形やからくり人形の技巧などを紹介した。他にもイベントとして、ひな人形作りを 1 回、からくり人形の実演を 4 回開催した。

開催期間 平成 28 年 2 月 21 日～3 月 13 日 19 日間

観覧者数 844 人（有料観覧者 712 人 無料観覧者 132 人）

⑬ 「小澤家ゆかりの品々」展

当館所蔵の羽釜や桶など台所道具を展示し、往時の小澤家の生活の一端を紹介した。

開催期間 平成 28 年 3 月 24 日～3 月 31 日 7 日間

観覧者数 150 人（有料観覧者 118 人 無料観覧者 32 人）

(2) 教育普及事業 128,337 円

① 体験学習事業

体験プログラムとして、漆器制作体験・金具打ち体験・からくり灯籠制作体験、フラワー アレンジメント体験、ひな人形作り体験、からくり人形実演などを実施した。

② 博学（産）（民）連携

近隣の日和山小学校の 4 年生 22 人を対象として、夏休み期間の 8 月 17～18 日の 1 泊 2 日で当館を会場に宿泊体験を実施した。和風建築の講義を長岡造形大学の平山育男先生にしていただいたり、越後大郷からくり館館長日根之和氏によるからくり人形の実演を鑑賞したり、銭湯に行ったり、蚊帳を吊って就寝したりするなど盛りだくさんの内容で展開し、かつての生活のあり方や旧小澤家住宅の建物や歴史について楽しく子供達に伝えた。

中学校については、総合学習の要望に応え、みなと町にいがたの歴史と旧小澤家住宅との関連について解説を行った。

新潟大学工学部建設学科建築学コースの学生および下本町商店会、旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会とともに「しも町」の賑わいと活性化を目的とした連携事業を展開した。景観を活かした町づくり、旧小澤家住宅並びに一部本町商店街のライトアップ、茶処「藤乃花」の営業、「しも町」をアピールするための広報活動、「しも町」を元気にするための組織作りなど学生による諸々の提案に対して助言を行い、事業の集大成となる「きなせや下町」というイベントを 1 月 30 日に実施し、旧小澤家住宅を拠点に、おおいに地域を盛り上げた。

③ 古文書講座（中級）全 3 回（2 月 10 日～3 月 9 日）

みなとぴあの協力を得て、古文書をある程度読解できる人を対象とした中級講座を実施した。冬期で入館者が少ない時期を設定し実施した。受講者は 18 名。

④ 庭園講習会 全 2 回（6 月 27 日、11 月 15 日）

田辺良夫さんを講師に迎え、当館の庭園を鑑賞しながら、ツツジや松といった庭木の手入

れ、冬囲いの方法などを学ぶ講習会を実施した。

⑤ ボランティア育成

ボランティア定例会を月1回程度開き、ボランティア企画「西川をめぐる写真」展開催に向け準備作業を行った。

⑥ 沈金体験 全12回（7月25日・26日・8月1日・2日・8日・9日・15日・16日・22日・23日・29日・30日）

「新潟漆器」展の関連企画として、沈金技法の体験を行った。

⑦ 金具打ち体験 全2回（10月17日・18日）

「仏壇」展の関連企画として、金具師の指導により金具打ちの技法の体験を行った。

⑧ 落語口演会（10月25日）

「仏壇」展の関連企画として、水都家艶笑氏を招いて落語の口演会を行った。

⑨ 稲穂で作るひな人形（2月28日）

「ひな人形とからくり人形」展の関連企画として、新潟アグリクラフトから講師を招いて稻穂等の自然の素材によるひな人形作りの体験を行った。

⑩ からくり人形実演 全4回（3月5日・3月6日）

「ひな人形とからくり人形」展の関連企画として、越後大郷からくり館の館長日根之和氏を招いて、からくり人形の実演を行った。

(3) 施設普及事業 1,205,497円

本施設の利用促進をはかるとともに、非公開部分の開放日を設け見学できるようにするなど、来館の動機付けを行う事業を行った。

また、季節に合わせたイベントや講座なども催し、旧小澤家住宅でのさまざまな楽しみ方を提案するとともに、観覧者アンケートを実施し、来館者のニーズの把握にも努めた。

① 夏至祭（6月20日、6月21日）

夏至の日に合わせて開催。DAIDOCO、THE COFFE TABLE、BarBookBoxの協力を得て、かき氷やお菓子、軽食、コーヒー、日本酒を提供し、松の間で飲食ができるようにした。

NPO法人みかわ天文台台長による、暦と空についての講演会を開催した。

また、特別夜間開館、庭園のライトアップも行った。

② ワインの昼べ（5月23日、11月28日、11月29日）

(株)ホクセイ社長でもある、ワインコーディネーター星野隆氏を講師に迎え、文化財の雰囲気の中でワインの楽しみかたを学んだ。ボジョレー・ヌーボー解禁に合わせて開催した11月の回は、申込み者多数のため急きょ2日間の開催となった。参加者60名(各回20名)。

③ 非公開部分 秋の特別公開（11月23日）

普段は非公開である、奥座敷2階および松の間を特別に公開した。

④ 花で彩る（2月20日～2月28日）

フラワーアレンジメント教室「水曜日のお花の会」の協力により、薄暗くなりがちな冬の旧小澤家住宅を色とりどりの花で彩った。今回は1日限定でフラワーアレンジメント体験教室も開催した。

⑤ 日本酒の昼べ（3月20日）

Bar Book BoxのJun氏を招いて、文化財の雰囲気の中で新潟県内および県外の日本酒の楽しみかたを学んだ。

(4) 調査研究事業 166,736 円

小澤家文書や小澤家より寄贈された資料を調査し、小澤家や湊町新潟の歴史について市民の理解を深めることを試みた。

また、その成果を「小澤家の品々」展などで展示紹介した。

① 旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会

旧小澤家住宅周辺に残る歴史的町並みを保全・活用し、地域の活性化に寄与することを目的とした「旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会」の活動に賛助会員として参加した。

(5) 収蔵資料保存管理事業 51,926 円

前年度に引き続き引き渡された資料と台帳データのつきあわせ作業を行い、確認作業を行った。

2 文化施設管理受託事業 22,931,023 円

旧小澤家住宅管理事業

新潟市文化財に指定されていることを理解し、利用者へのサービスの向上に努め、旧小澤家住宅（情報案内所・藤ノ間・百合ノ間・道具蔵・離れ座敷等）の管理運営を行った。

※ 平成27年度旧小澤家住宅入館者数 16,552 人

収1 付帯・施設貸与事業**298, 575, 487 円****1 付帯事業 37, 940, 744 円****(1) 市民芸術文化会館付帯事業 37, 207, 392 円**

市民芸術文化会館の文化事業を推進し、館のイメージアップを図るため、来館者へのサービスを充実するとともに施設に触れる機会の提供に努めた。

- ① 友の会の運営
- ② ショップの運営
- ③ 飲食サービスの充実
- ④ バックステージツアーの実施

(2) 新潟県民会館付帯事業 26, 140 円

来館者へのサービスをより充実させるため、鑑賞用グッズの販売や他館で開催される催し物チケットの受託販売、各種自動販売機の設置などを実施した。

- ① グッズの販売
- ② 受託チケット販売
- ③ 自動販売機設置

(3) 歴史博物館付帯事業 490, 988 円

来館者に対するサービスの充実を目的に、歴史に関する書籍やグッズ類を扱ったショップの運営や自動販売機の設置を行った。

- ① 物販等ショップの運営
- ② 自動販売機設置

(4) 旧小澤家住宅付帯事業 216, 224 円

新潟漆器、ふろしき、バッグ、藤の鉢植えなどを委託で販売。季節に合わせてこまめに商品の入れ替えを行っている。箸置き、つま楊枝などオリジナルグッズの開発にも力を入れており、今年はお菓子「まるこぼうろ」の販売を始めた。

2 施設貸与事業 260, 634, 743 円

来館者へのサービスの充実を図るため、公益目的以外の活動に対しても施設の貸出を行った。

- ① 市民芸術文化会館 (145,656,885)
- ② 音楽文化会館 (24,866,935)
- ③ 県民会館 (42,917,520)
- ④ 歴史博物館 (40,725,679)
- ⑤ 旧小澤家住宅 (6,467,724)